



日光市民活動支援センター

〒321-1261 日光市今市304-1 2階

OPEN 9:00～23:00 (19:00以降は会議室利用時のみ開所)

TEL / FAX 0288-22-2271 URL ▶ <https://nikko-shiencenter.jp/>

新年が明け皆が心穏やかに過ごしていた時に、大きな地震が能登地方を襲いました。各地に甚大な被害をもたらし、多くの命が奪われました。そんな被災地の状況に多くの方が心を痛めていたことと思います。まず、このたびの地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

発生から1ヶ月となりますが、未だ多くの被災者の方が避難所等で不自由な生活を送られています。断水も続いているようで、本当に苦勞されていることと思います。遠方からでも被災地の方々に支援できることは何か、センターでも情報を収集し、日光市の皆さまへ情報をお届けできたらと思っています。被災地の復旧・復興、そして被災された方々に一日も早く平穏な日常が戻ってくることを心よりお祈りいたします。

日光市民活動支援センターからの **お知らせ**

《落とし物の処分について》 年度末に、センターで保管させていただいている落とし物・忘れ物の処分を行います。3月1日から3月末日まで2階の受付付近に掲示しますので、お心当たりのある方はご確認ください。

わたしたちが今、できること。

令和6年能登半島地震の被災者支援について考える

被災地へ心を寄せながらも、何をすればいいかわからず、ただもどかしさを抱えている人も少なくないでしょう。さまざまな支援の方法がありますが、今わたしたちにできることのひとつは「募金」でしょうか。すでに募金したという方もいらっしゃると思います。身近な場所に設置された募金箱へ入れる、寄付先の振込先に送金する等、募金にもさまざまな方法があります。日光市民活動支援センターでも、日光市と社会福祉協議会様よりお預かりした募金箱を設置しています。(税制上の優遇措置を希望される場合は「預かり証」を発行します。) 寄付先によって活用の仕方も違いますので、どこにどのように寄付しようか迷われている方がいましたら、私達スタッフも一緒に調べたり考えたりお手伝いをさせていただきますので、お気軽にセンターまでご相談ください。



ここで気になる! **義援金・支援金**の違いとは???

「義援金」と「支援金」では、お金の使われ方などが大きく違います。

- 「義援金」とは、... 被災者へお悔やみや応援の気持ちをこめて送るお金とされています。被災した県が設置した「義援金分配委員会」によって、寄付された金額の100%が被災者に直接、公平に分配されることが特徴です。しかし、被災者数など正確な情報を把握する必要があり、被災者に届くまでには時間がかかるという面もあります。
- 「支援金」とは、... 応援したい団体や関心のある団体を自分で選んで寄付し、被災地の支援に役立ててもらおうお金です。寄付したお金は、NPOやボランティア団体などによって使い道が決定され、復旧活動に役立てられます。各機関が各自の判断と責任において柔軟に使用できるため、被災地でもすぐに活用されやすいのがメリットと言えます。

参照... 日本財団「支援金と義援金の違い」より

災害時に「だれもが取り残されない」支援を

先日、日光で福祉職員をしている方との話の中で、障がい者や高齢者の方は震災の時に避難所での生活が難しく、必要な支援物資も一般の方とは違って来るため、いろいろ困ることが多いと聞きました。

今回の震災では「災害弱者」と言われる人々への支援も広がり、福祉避難所やこどもの居場所が作られています。過去の震災では、外国人生活者が日本語がわからず避難所に行けなかった、必要な支援を受けることが出来なかった、という経験から、行政との連携で、外国人生活者への支援作りが始まった場所もあるようです。行政、NPO、企業等の連携もあり、「だれもが取り残されない」支援の輪も広がっています。

センター会議室予約 受付開始日時のお知らせ

R6年5月分 2月1日(木) 午前9時

R6年6月分 3月1日(金) 午前9時

※ 開始日の午前中は来館者のみ受付、電話での受付は正午からとなります。

☆登録団体さんの活動を紹介します☆

メンバーのみなさん



～ ワークショップで親子を笑顔に ～

フェリーチェアンドコー
子育てママ支援サークル **Felice & Co.**



“子育て中のママとパパ、そして子ども達を笑顔にしたい！”という想いのもと、ひとりひとりが違った得意分野を持つ子育てママたち7人が集まり、2022年4月、ママを応援するサークルFelice & Co.が誕生しました。

自身も子育て真っ最中の代表の加藤さんは、保育士の仕事に長年携わっており、常々、ものづくりが得意なママたちが輝ける場所はないか？何かできることはないか？と考えていたそうです。

Felice & Co.さんは地元日光市をはじめ、宇都宮・鹿沼近辺のマルシェやイベントに出店し、ものづくりが得意なママたちの、個性が光るハンドメイド雑貨を委託販売したり、親子で楽しめるワークショップを企画・提供する活動をしています。特に人気のワークショップは、Tシャツなどを自分で染める「タイダイ手染めワークショップ」なのだそうです。

加藤さんは、「マルシェに遊びに来た親子が、様々なワークショップを通してものづくりの楽しさを知り、親子で楽しい時間を共有し笑顔になって欲しい。私たちは、ご一緒させてもらった団体さんとのたくさんのご縁に感謝し、横の繋がりを大切にしながら活動しています。今後は、いただいた繋がりで活動範囲を広げ、スタッフ達には家庭と家族を最優先しながらもっともっと輝いて欲しい！」と笑顔で話されていました。

日光市を盛り上げたい、子育てする女性が生き生きと活躍できるよう応援したい、子育てしやすい日光市でありたいと願うFelice & Co.さんは、3月に開催されるボランティアフェスタにマルシェ出店予定となっています。

この度はお話を聞かせていただき、ありがとうございました😊

Felice & Co.さんの
今後の活動予定
は、instagramで
確認できます。



@FELICE.NIKKO



ワークショップの様子



代表の加藤さん

にこっと！な お話

スタッフの山本佳子(よしこ)です。1月になり新しい年になったと思ったら、あっという間に2月。2月と言えば、我が家の恒例行事で節分があります。豆まき。息子が保育園の頃、豆まきで小袋に入った豆を豆まきに使うのを知って驚いたのですが、その後、豆(大豆)ではなく、殻付きピーナッツを投げるという話を聞いてさらにびっくり。「年の数だけ豆を食べる」と思っていたので、ピーナッツだと殻で数えるのかしら…などと考えてしまいました(笑)

「どんどん拾うのが簡単な方へ簡素化されていくのね」と思っていたら、実は地域によっては落花生を使っていたのだとか。北海道などの雪国は拾うのが簡単だという理由らしいです。いろいろあるんですね。みなさんは何豆派ですか？



😊取材希望の団体さんを募集しています😊

あなたの団体の活動をPRしませんか？取材についてのお問い合わせは
お気軽に日光市民活動支援センター☎0288-22-2271 まで♪

